

5. 各教科の具体的指導内容

生活科 1～3段階

生活科の目標（上段は学習指導要領からの目標，下段は本校での指導の形態ごとの目標）

小学部	日常生活の基本的な習慣を身に付け，集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに，自分と身近な社会や自然とのかかわりについて関心を深め，自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。
中学部	
高等部	

内容の構成（観点の構成）

小学部相当	1段階	基本的 生活 習慣	健康 ・ 安全	遊 び	交 際	役 割	手 伝 い ・ 仕 事	き ま り	日 課 ・ 予 定	金 銭	自 然	社 会 の 仕 組 み	公 共 施 設
	2段階												
	3段階												

観点	基本的生活習慣		
内容	1段階	2段階	3段階
食事	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に必要な身辺処理を求めたり、教師と一緒にしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の援助を受けながら日常生活に必要な身辺処理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に必要な身辺処理を自分でする。
用便	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が手を添えるなどして食事等をする。 ・食事の前に手洗いをする。 ・配膳をする。 ・食後に片付けをする。 ・こぼしたときはふいたり、片付けたりする。 ・スプーンやフォーク、食器などの正しい使い方を理解する。 ・よくかんで食べたり、適量を口に入れたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師から言葉掛けや促しなどの援助を受けながら、自分で食事等をする。 ・食事の一連の流れが大体分かる。 ・こぼさないように食べる。 ・食事中に立ち歩かない。 ・食事の際の基本的な態度を十分に身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ一人で食事をすることに取り組む。 ・エプロンの着替えができる。 ・手洗いができる。 ・食器の運搬・配膳ができる。 ・食前・食後のあいさつができる。 ・適量をよくかんで食べることができる。 ・食器をまとめて運搬することができる。 ・一連の活動を友達と協力して行うことができる。
寝起き	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から離れて寝ることができる。 ・就寝前のあいさつを習慣化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示や促しなどの援助を受けながら、定時に寝起きできる。 ・一人で寝まきに着替える。 ・通学服や普段着などに着替える。 ・あいさつができる。 ・就寝前や起床後の洗面や歯磨きができる。 ・寝床の準備や片付けなどの活動を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就寝前や起床後のあいさつを自分から言う。 ・自分で寝床の準備をしたり片付けをしたりする。

基本的生活習慣			
	1段階	2段階	3段階
清潔	・歯磨き, 洗面, 手足を洗う, 鼻をかむ, 髪をとかず, つめを切る, 耳あかを取る, ふろに入る, 髪を洗う, 湯あがりに体をふくなどの行動を, 教師と一緒にできるようにする。	・教師の声掛けや促しなどの援助を受けながら, できるだけ一人でできる。	・自分から清潔を意識して活動に取り組む。
		・身体各部や衣服の汚れが理解できるようにする。	・身体や衣服の汚れのほか, 日常的に下着を交換する。
		・身体を清潔にする意識を育てる。	・簡単な洗濯をする。
		・髪のとかし方, つめの切り方, 体の洗い方など, 道具や用具を使うことは教師と一緒に繰り返し行う。	・入浴時の身体各部の洗い方やふき方をを知る。
			・入浴後に使用した洗面器やタオルの後片付けをすることができる。
			・理髪店の利用をすることができる。
身の回りの整理	・教師が手を添えるなどして, 自分の帽子, かばん, 靴, 衣服などを見分け, 決められた場所に置く。	・教師が援助を徐々に少なくし, ハンガーに掛けたり, 下足箱に入れたりして整理できる。	・できる限り自分で, 靴や衣服などの整理をする。
		・身の回りの用品の名称を知る。	・衣類に合わせた畳み方を知る。
		・衣類の畳み方を知る。	・かばんや文具などの収納場所や収納方法を知る。
		・収納場所や収納方法などを知る。	・旅行等に必要な物の準備や後片付けをする。
			・雨具の後片付けをすることができる。
			・ふだん使用しない物も準備や後片付けをする。
身なり	・教師と一緒に, 簡単な衣服の着脱を行う。	・援助の程度を考慮しながら, 一人で行う力を育てる。	・着替えの際などに, 身だしなみを整える。
	・ズボンにシャツを入れる。	・衣服の前後, 表裏に気をつけながら着脱したり, 鏡の前で, 着脱後の簡単な確認をしたりする。	・そで口や襟もの, すそを整えることなどに自分から気付く。
	・季節や気温に応じた様々な衣服に慣れる。		・通学服から体操着などに着替えることで, 鏡で確認すること, 寒暖や天候, 活動や場所に合わせて衣服や履物を選ぶ。
	・天気に応じて傘の使用やレインコート, 長靴等の身に付け方が分かったり, 安全に使用したりすることができる。		・身の回りの整理と合わせて衣服を畳む。
			・衣服の汚れやほころびに気付く, 自分から着替えをする。
			・適切な場所で着替えをする。

観点	健康・安全		
内容	1段階	2段階	3段階
健康管理	<p>○教師と一緒に健康で安全な生活をする。</p> <p>・教師と一緒に、「がらがら(うがい)」、「のど」、「せき」などの言葉に触れて、うがいに関心を持つ。</p> <p>・教師と一緒に、うがいをする。</p> <p>・帰宅時などに、手洗いの手順などとともに、手洗いを習慣化する。</p> <p>・体調が悪いときやけがをしたときに、教師と一緒に保健室へ行くなどして保健室の雰囲気慣れる。</p>	<p>○教師の援助を受けながら健康で安全な生活をする。</p> <p>・体調について意識し、体調の悪いときやけがなどを教師等に知らせる。</p> <p>・朝の会で体調を発表する。</p> <p>・朝の会で教師に痛い部位を伝える。</p> <p>・体重の変化が分かるなど身体測定の結果に関する興味・関心をもつ。</p> <p>・手の汚れの状態を見て、手洗いができる。</p>	<p>○健康や身体の変化に関心をもち、健康で安全な生活をするように心掛ける。</p> <p>・自分から体調について意識する。</p> <p>・治療や休養が必要である場合には、できるだけ一人で保健室を利用する。</p> <p>・友達のけが等を教師等に告げる。</p> <p>・病気やけがをしたときは、落ち着いて簡単な手当を受けることができる。</p> <p>・身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心をもつ。</p> <p>・自分の身体を洗うことや髪、つめの手入れなどの衛生面に関心をもって適切な対応ができる。</p> <p>・食欲の変化等の体調の管理についても、関心をもって適切な対応ができる。</p> <p>・月経の指導については、開始の時期や期間中の様子などに個人差があるので、家庭等の協力を得て、生理用品一式を用意しておくとともに、不安感をもたないで初経を迎えられるようにすることが大切である。処置については、用便、清潔、身なりの指導と関連させながら、初期の段階で個別に指導する必要がある。また、児童が、月経時に自分から女性教師に声を掛けるよう指導することも大切である。</p>
危険防止	<p>・教師と一緒に、様々な活動する中で、身の回りにある小さなボタンやおもちゃ、硬貨などをむやみに口に入れない。</p> <p>・教師と一緒に、様々な活動する中で、階段や段差などに注意して歩く。</p> <p>・教師と一緒に、様々な活動する中で、ブランコやジャングルジムなどのけがや事故につながる危険な場所に一人では近付かない。</p> <p>・教師と一緒に刃物や器具類などを一人で扱わない。</p>	<p>・教師の指示や援助を受けながら、物を投げたり、高いところへ登ったりするなど危険な遊びをしない。</p> <p>・教師の指示や援助を受けながら、ガスの栓、マッチ、刃物などの危険な物に、必要以上に触れない。</p>	<p>・自分で気を付けながら、安全に遊具や日常生活で使用する器具等を扱う。</p> <p>・行動範囲の広がりに応じて、危険な場所や状況を知らせ、自分から回避したり、大人に知らせたりするなど、適切な対応をする。</p> <p>・道に迷ったときに、家庭等へ電話して知らせる。</p> <p>・見知らぬ人には付いていかない。</p> <p>・寄り道せずに帰宅する。</p>

		健康・安全		
		1段階	2段階	3段階
交通安全	・教師と一緒に、交通信号に注意しながら道路を歩く。	・教師と行動を共にしながら、自転車や自動車などに気を付ける。	・自分から交通安全に留意し、様々な信号機があることを知る。	
	・教師と一緒に、横断歩道を安全に渡る。	・教師と行動を共にしながら、友達と横に並ばないで歩く。	・信号に従いつつ左右を確認して渡る。	
	・道路の中央は歩かない。	・教師と行動を共にしながら、道路の横断では手を上げて渡ることなどを知る。	・「止まれ」、「通行止め」、「横断禁止」、「危険」などの標識を理解する。	
	・接近する自動車や自転車などを避ける。		・交通安全の係員の指示に従う。	
	・教師と一緒に歩きながら、信号を確認する。	・歩行者用の信号を理解して道路を横断する。	・自転車の使用に関して、交通ルールを実際の道路上で体験する。	
	・教師と一緒に歩きながら、左右を見て安全確認を行う。	・踏切の警報機の意味を知り、正しく渡る。		
避難訓練	・教師と一緒に避難訓練に参加し、騒いだり、走り回ったりせずに机の下に隠れる。	・避難時に、教師等の指示により、友達と一緒に行動する。	・避難時に、教師等の指示を適切に理解し、自分で安全な体勢をとる。	
	・教師と手をつないで、避難場所に移動する。	・「火事」、「地震」、「避難」などの言葉の意味を理解する。	・避難時に、教師等の指示を適切に理解し、移動時には集団として行動する。	
			・担任以外の教師の指示にも進んで従う。	
			・火災時には、ハンカチやタオルで口を覆う。	
			・避難訓練を通して、適切な行動の必要性を知る。	

観点	遊び		
	1段階	2段階	3段階
内容	○教師や友達と同じ場所で遊ぶ。	○教師や友達と簡単なきまりのある遊びをする。	○友達とかかわりを持ち、きまりを守って仲良く遊ぶ。
いろいろな遊び	・教師や友達を同じ場所で、一人で好きなことをする。	・教師や友達と簡単なきまりのある遊びをする。	・友達と一緒にルール(順番、交代、勝ち負け、役割など)のある遊びを楽しむ。
	・教師や友達と同じ場所で、友達とかかわり合いながら遊ぶ。	・教師と簡単なごっこ遊びをする。	・ルールを分かって遊ぶ。
	・教師の働き掛けを受け入れ、まねをする。	・教師と鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びをする。	・友達と一緒に簡単な遊具(大きな積み木の家や橋、色紙、はさみ、粘着テープなどで作る遊び遊具など)を作って遊ぶ。
遊具の片付け	・教師と一緒に、遊びに使った遊具を所定の場所に運ぶ。	・教師に促されて、自分で使った遊具を片付ける。	・自分から進んで遊具などを片付ける。
		・友達からの声掛けでも片付ける。	
		・友達と一緒に大きな物を、協力しながら運び、収納する。	

観点	交際		
	1段階	2段階	3段階
内容	○教師と一緒に身近な人に簡単なあいさつをする。	○教師の援助を受けながら身近な人にあいさつや話をするなどのかかわりをもつ。	○身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な対応などをする。
自分自身と家族	・自分の名前を呼ばれたときに身振りや表情で応じる。	・自分の家族の名前が分かる。	・自分や家族について、仕事や兄弟姉妹関係などにも触れて簡単に話したり、紹介したりする。
	・自分の名前を呼ばれたときに声を出したりする。	・自分の家族を紹介する。	
	・自分の挙手や発声で、自分を呼んだ人に対して返答する。	・家族の名前を尋ねられたときに応じる。	
身近な人との交際	・身近にいる教師の名前を覚える。	・担任の教師や友達の名前を言う。	・簡単な日常のあいさつをする。
	・身近にいる教師や親しい友達と手をつなぐ。	・身近な人に自分からあいさつをする。	・見たことや、聞いたこと、遊んだことを教師や友達と話し合う。
	・身近にいる教師や親しい友達にごく簡単な要求を表現する。	・教師等に見たこと、聞いたこと、遊んだことを話す。	・学校の出来事を家庭等で話す。
	・教師と一緒に、頭を下げたり、手を振ったり、握手したりしてあいさつする。		・家庭等での会話を学校で話す。
電話や来客の取り次ぎ	・お客さんが来たことや電話がかかってきたことに気付き、関心をもつ。	・人の来訪を伝える。	・電話や来客があったときには「はい、〇〇です」、「今替わります」、「〇〇先生、電話です」、「〇〇先生にお客様です」など言って、適切に取次ぐ。
		・電話の取次ぎをする。	
気持ちを伝える対応	・それぞれの場面に応じて教師に促され「ありがとう」や「ごめんなさい」などの気持ちを表す。	・教師の援助を受けながら、適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。	・「ありがとう」や「ごめんなさい」などを相手に理解してもらえるよう、適切に言える。

観点	役割		
	1段階	2段階	3段階
内容	○教師と一緒に集団活動に参加する。	○集団活動に参加し、簡単な係活動をする。	○進んで集団生活に参加し、簡単な役割を果たす。
集団の参加や集団内での役割	・教師と一緒に、集団の中で活動することに慣れる。	・学級・学年・異年齢集団など、人数や年齢幅が異なる集団に参加し、教師の援助を受けながら、集団活動での簡単な係活動を果たす。	・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。
	・学級・学年・異年齢集団など、人数や年齢幅が異なる集団に参加し、友達を知り、友達と一緒に活動する。	・友達と一緒に活動する中で、遊び道具の運搬、準備など簡単な係活動を行う。	・様々な役割があることを知る。
			・他の係を意識しながら活動の見通しをもつ、自分の役割を果たす。
地域の行事への参加	・教師と一緒に地域の行事に参加し、楽しい雰囲気を楽しむ。	・教師に援助されながら、地域の行事に参加し、簡単な買い物をする。	・友達と一緒に行事に参加し、主体的に地域の行事の催し物などを楽しむ。
		・教師に援助されながら、地域の行事に参加し、地域の人達と一緒に活動したりする。	・友達と一緒に行事に参加し、地域の人たちと協力して、行事の準備や片付けをする。
共同での作業と役割分担	・教師と一緒に、簡単な作業を行う。	・教師の援助を受けながらも、友達と一緒に作業に取り組む。	・作業分担や役割に自分から取り組む。
			・自分から役割を果たす。

生活科 手伝い・仕事

観点	手伝い・仕事		
内容	1段階	2段階	3段階
手伝い	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と一緒に簡単な手伝いや仕事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の援助を受けながら簡単な手伝いや仕事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活で簡単な手伝いや仕事を進んでする。
整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に、配布物を配る。 ・教師と一緒に、教材等を運搬する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の援助を受けながらも、できるだけ自分で、配布物の手伝いをする。 ・教師の援助を受けながらも、できるだけ自分で、他の教室へ教材等を運ぶ。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、自分から調理や製作などの様々な活動の手伝いをする。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。
戸締まり	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に扉や窓の開閉を繰り返し、扉や窓の開閉に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知る。 ・扉や窓をどのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓の開閉や鍵の開け閉めが、いつ、どのようなときに必要なのかを理解する。 ・窓をどのくらい開けたり、閉めたりするのかなどが分かる。
掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に、ごみを拾ったり、ごみ箱のごみを捨てたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の援助を受けながら、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 ・掃除用具の名称を覚えたり、使い方が分かたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内、廊下、玄関、プレイルーム、階段などの分担された場所の掃除をする。 ・場所に適した掃除の方法や手順、用具の使い方などを身につける。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に、手伝いや仕事で使用した道具等の後片付けをする。 ・自分が使用した道具等を運ぶなど、徐々に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の援助を受けながら、仕事で使用した道具等の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と一緒に、協力しながら片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手伝いや仕事の終了時に報告をする。 ・自分から決められた場所に道具等を片付ける。 ・片付けをすることは、集団生活における大切なルールであることに気付く。

観点	きまり		
	1段階	2段階	3段階
内容	○教師と一緒に日常生活の簡単なきまりに従って行動する。	○日常生活に必要なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動する。	○日常生活に必要な簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動する。
自分の物と他人の物の区別	・教師と一緒に自他のものを区別する。	・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。	・物を貸し借りする。 ・落し物を拾ったときは、教師に届けたり、持ち主を探して手渡したりする。
学校のきまり	・教師からの声掛けや様々な合図などを聞いて、学校生活の簡単なきまりを教師と一緒に行動しながら知る。	・廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付く。 ・教師の援助を受けながら様々なきまりを守る。	・きまりは共同生活を成り立たせていくことや地域において安全に生活する上で重要であることを知り、必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。
日常生活のきまり	・教師と一緒にきまり(道路を歩くときや横断歩道を渡るとき、乗り物や公共施設を利用するとき)を守って行動する。	・教師の援助を受けながら、日常生活においてきまりがあることに気付き、それを守って行動する。	・日常生活において、進んできまり(公園や遊園地、図書館などの公共施設や電車やバスなどの公共機関を利用する際のきまり、火災報知機や消火器の設置場所と役割の理解、その使用法など)を守る。
マナー		・身近な生活におけるマナーが実際に守れる。 ・食事中は席に座っている。 ・口に食物が入っているときには話さない。 ・正しい姿勢で食事をする。	・公共の場で静かに過ごす理由が分かる。 ・バスや電車、病院や図書館など公共の場では静かに過ごす

観点	日課・予定		
	1段階	2段階	3段階
内容	○教師と一緒に日課に沿って行動する。	○教師の援助を受けながら日課に沿って行動する。	○日常生活でのおよその予定がわかり、見通しをもって行動する。
日課・予定	・学校生活で教師と一緒に日課に沿って行動する。	・教師の援助を受けながら、次に何をするのが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行 ・下校後は何をするのがや明日の予定など、身近な予定について知る。	・日常生活におけるおよその予定がわかり、行動できる。 ・1週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校行事や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。

観点	金銭		
	1段階	2段階	3段階
内容	○教師と一緒に簡単な買い物をする。	○決まった額の買い物をして、金銭の必要なことが分かる。	○簡単な買い物をして、金銭の取り扱いに慣れる。
金銭の扱い	・教師と一緒に簡単な買い物をするなどして、お金を渡すことやお金を財布に収納するなど、金銭を取り扱う方法を知る。	・教師の援助を受けながら、実際にお金を支払い、お金の価値を徐々に理解する。	・日常生活でお金が必要なことが分かり、価格に応じて硬貨や紙幣を適切に組み合わせさせて支払ったり、種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることなどに慣れる。
買い物	・教師と一緒に簡単な買い物をする。品物を選んでレジまで持っていき、店の人にお金を渡す、品物を袋に入れるなどの体験をする。	・教師の援助を受けながらも、できるだけ自分で買い物をする。	・目的に応じた買い物をする。
		・「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使う。	・「幾らですか」、「〇個ください」などの買い物に必要な言葉を使う。
		・決まった額の買い物をする。	・簡単なおつりのある買い物をする。
		・商店などで品物を選んで買う。	・値札を見ておおよその値段が分かって買い物をする。 ・商店などでレジの場所が分かり、代金を支払う。
自動販売機などの利用	・教師と一緒に自動販売機にお金を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を出すことに慣れる。	・教師に援助されながらも、できるだけ一人で自動販売機にお金を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、おおよその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようになる。	・簡単な自動販売機などを自分で利用する。

観点	自然		
	1段階	2段階	3段階
内容	○身近な自然の中で、教師と一緒に遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもったりする。	○身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。	○身近な自然の事物・現象に興味や関心を深め、その特徴や変化の様子を知る。
自然との触れ合い	・教師と一緒に公園、川、野山、海などで楽しく遊び、自然の事物や自傷に触れ、生き物などに興味や関心をもったりする。	・自然の中で遊んだり、木の実拾い、落ち葉拾いなどをしたりしながら、自然の事物や事象に触れ、自然がその姿を変えることが分かったり、動物の動きなどに興味をもったりする。	・自然を利用して遊んだり、校外学習等で海や山の自然に親しみ、草の木、木の実、落ち葉などを集めたり、形や色などの特徴をつかんだり、植物の変化をとらえたりする。
動物の飼育・植物の栽培	・教師と一緒に活動しながら、飼育している身近な動物や栽培している植物に興味をもったりする。	・教師の援助を受けながら小動物を飼育し、生き物への興味・関心をもつ。	・身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などを栽培しながら関心を深める。
季節の変化と生活	・晴れや雨などの天候の変化に気付くようにする。	・天候の変化や、太陽、月、星など昼夜とのかかわりに関心をもったり、冬は寒く夏は暑いなどの季節の特徴に関心をもつ。	・天気予報や台風などの情報に関心をもち、太陽の出没の方角や月の満ち欠けなどを観察する、四季の変化に関心をもつ、季節と行事の関係に関心をもつ

観点	社会の仕組み		
	1段階	2段階	3段階
内容	○家族や家の近所などの様子に興味や関心をもつ。	○家族の役割や身近な地域の様子に興味や関心を持ち、自分と家庭や社会とのかかわりに気付く。	○家庭や社会の様子に興味や関心を深め、その働きを知る。
家族・親戚・近所の人	・自分の父母、兄弟姉妹、祖父母がわかり、家族と気持ちを安定させて生活する。	・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付く。	・家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業が分かったりする。
	・隣近所の人などに関心をもつ。	・身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。	
いろいろな店	・近隣や通学路にある店に関心をもつ。	・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな店やそこで販売している商品に関心をもつ。	・いろいろな店の種類が分かり、それぞれの店の名称やそこで扱っている商品の名前が言える。
	・自分の好きな商品が置いてあることがわかる。		・店に出掛け、その看板を読んだり、実際に買い物をしながら、商品の名称を確認したりする。
			・商品はどこで生産されたのか、どこから運ばれたのかなどを調べ、工場や農家などへの関心を高める。
社会の様子	・自分が住む家の近所には商店、公園、学校、駅などがあることに気付き、そこに出掛けて関心をもつ。	・自分が住む町の公共施設や、いろいろ商店、河川や山、公園などに関心を持ち、およその名称を知るとともに、自分の生活との関連について知る。	・自分の住む地域や隣接する市町村の名称が分かる。
			・自分が住んでいる地域や周辺の地域の田畑、大きな河川、港湾、商業地や工業地、住宅地などのおおよそが分かる。
			・地域で見られる産業にも関心を深め、その働きを知る。
			・テレビ等で身近な社会の出来事を知り、関心をもつとともに、国民の祝日に関しても、おおよその意味が分かる。

生活科 公共施設

観点	公共施設		
内容	1段階	2段階	3段階
公園や遊園地などの利用	<p>○身近な公共施設や公共物などを教師と一緒に利用する。</p> <p>・教師と一緒に、学校の近くの広場、公園、遊園地などに行って遊び、遊ぶ場所を知る。</p>	<p>○教師の援助を受けながら身近な公共施設や公共物などを利用する。</p> <p>・公園や遊園地などに行き、教師の援助を受けながら、気に入った遊び場や遊具で自分から進んで遊ぶこと、順番を待つこと、安全な遊び方を知る。</p> <p>・自然や遊具を大切にす。</p> <p>・ごみをゴミ箱に捨てる。</p>	<p>○身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る。</p> <p>・目的の遊具利用券を自分で買って遊んだり、好きな動物に触れたりするなど、公園や遊園地などを適切に利用する。</p>
公共施設の利用	<p>・教師と一緒に、児童にとって身近な公園、広場、公衆便所などの公共施設を利用する。</p>	<p>・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を教師の援助を受けながら利用し、そのおおよその働きが分かる。</p>	<p>・警察署(派出所)、消防署、郵便局、病院などを実際に利用したり見学したりしておおよその仕事の様子が分かる。</p>
交通機関の利用	<p>・教師と一緒に、電車やバスなどを利用し、乗降時に料金を支払うなどを経験する。</p>	<p>・電車やバスなどの利用し、教師の援助を受けながらも、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れる。</p> <p>・いろいろな交通機関があることを知る。</p>	<p>・日常的に利用している電車やバスなどの切符を自動販売機などで買う。</p> <p>・電車やバスを一人で利用して通学に慣れる。</p> <p>・目的地まで、電車やバスを確実に利用する。</p> <p>・交通機関が遅延した際の対応方法を知る。</p>